

■ 延岡学園尚学館中学校高等部

開催日：令和5年7月19日（水）14時20分～15時10分（※終了後座談会）

受講者：4・5年生（高校1・2年生） 77名

講師：大館 真晴 氏

・応募のきっかけ

⇒生徒の探求活動で「地域の文化」について学ぶ班を初めて受け持つこととなり、何か活動の手助けになることがないかと思っていたときに本事業を知った。生徒達には活動を行う上で、さまざまな意見や考えを取り入れてほしいという思いから、外部講師の話を聞ける良い機会だと思って応募した。



・授業では4・5年生77名が受講。

古典を学ぶことは、昔の人の考えや価値観を知ることである、という話からスタートしました。

・学校近くの「竹谷神社」はニニギノミコトが奉られており、神話に縁の地であること、北川の道の駅”はゆま“は長井の駅家（うまや）という古代にまつわる土地であることなど身近な地域の伝承に、皆さん驚かされていました。



・授業後は、「地域の文化」探求班のメンバー約20名との座談会を行いました。

・普段から研究を重ね、知識豊富な生徒さん達からは、するどい質問もありました。

・先生からは、どんな神話や神社が県内にあるか調べることも大事ですが、なぜこれまで伝わってきたのか、地域にとってどのような意味を持つのかという視点を持つと更に充実した研究になるのではないのでしょうかとアドバイスがありました。

・生徒の感想

⇒・自分の身近なところに遠い昔のことが面影を残していることが分かり感動した。

・古事記や日本書紀の内容から読み取れることを教えてもらい、郷土の価値を新たに知ることが出来た。

・質問を色々投げかけてもらって楽しく講座を受けられた。